

経済

観光戦略の新たな取り組みを追う

伝えて！九州、熊本の本物の姿

中・韓・台3カ国の記者が熊本を取材、東アジアの観光客呼び戻しへ安全情報を発信



▲本丸御殿「昭君の間」を見学する記者。上海日報の記者は「中国人なら誰でも昭君の物語を知っている」と話していた



新聞記者ら

▶5月10日、情報関連コンサルタント会社九州情報リゾン（福岡市）の招きで来熊し、熊本城本丸御殿の「昭君の間」を写真に収める韓国、中国、台湾の新聞記者ら



▲天守閣前の広場で観光ボランティアガイドの原田さん（後姿）から熊本城の説明を受ける記者



この日一行は県観光課の下田茂徳主幹の案内で、午前中に熊本城と城彩苑を見学した後、午後は阿蘇に向かい阿蘇神社や中岳火口などを視察した

「来る前は少し心配した。中国のメディアはこの問題を大きく取り上げている。しかし、来て見ると九州の人たちが普通に暮らしていることが分かった」

中国紙「上海日報」評論部の倪（ニ）記者は、自分の目で確かめた九州、熊本の印象をこう述べた後、「上海に帰ったら九州は旅行に出掛けても安全という記事を書きたい」とテレビ局の取材クルーの質問に答えた。

福島第一原発事故の影響で、海外からの旅行者が激減している。いつもなら韓国人団体客などで賑わう熊本城からも、めっきり外国人観光客の姿が減った。経済成長著しいアジアからの観光客誘致は、日本の新成長戦略のひとつ。政府は2020年に訪日外国人2千万人達成を目標に掲げる。順調に推移していたアジアからの訪日客の伸びに、原発事故が急ブレーキをかけた訳だ。

熊本ではリーマンショックやウォン安、新型インフルエンザの影響で落ち込んでいた韓国客が、一昨年秋頃からV字型の回復を見せていただけに、痛い。風評被害を克服しようと、政府をはじめ九州各県の行政当局や観光関係者は安全情報の発信に力を入れている。写真の中国・韓国・台湾3国の新聞記者を招請したのもそうした取り組みの一環だ。

ただ、原子力災害という特殊性、旅行先の選択という任意性から、アジアからの旅行者の回復にどの程度の時間を要するのかが不透明な状況だ。



九州新幹線おみやげ開発プロジェクト

▶4月30日から5月5日まで県民百貨店で開催された「くまもと うまかモン！」の販売会。百貨店での販売会は初めて。ゴールデンウィーク中とあって多くの人が訪れ商品を手にとっていた

熊本市桜町の県民百貨店地下1階では、4月30日から5月5日まで販売会を開催。帰省客が増えるゴールデンウィークに2品すべてを並べ、当初見込んでいた予算に近づく売り上げとなった。同百貨店では今後も、くまもと うまかモン21品を集めた販売会の取り組みを検討している。

3月にオープンした観光交流施設「桜の馬場 城彩苑」の旬彩館では、初日から11品を販売。熊本市手取本町の鶴屋百貨店本館地下1階にある「ふるさと家」では、3月から県産のトマトと味噌を使った和風イタリアンソース、とまとみそーすなど7品を販売し、肥後の健康和牛「あか牛」を使ったカレーは、一人で10個ほどまとめて買う人もいたという人気ぶり。今後も継続して、うまかモンを販売するという。



京都から新幹線に乗って熊本へ観光に来たという親子。帰りの新幹線で食べようと「くまもと うまかモン！」に認定された「南関あげ巻寿司」を手にとっていた

九州新幹線全線開業に合わせて開発された熊本の新しい土産品「くまもと うまかモン」が好評だ。同商品は、県と熊本市の共同事業「九州新幹線おみやげ開発プロジェクト」で選定された21品。あか牛のしぐれ煮や南阿蘇こだわりプリン、国産晩白柚蜂蜜など県産の農林水産物をふんだんに使い、約1年かけて開発、改良を重ねた。

熊本駅のキヨスク1号店では2月から、うまかモンの販売を開始。「特に南関あげ巻寿司は珍しいので、地元の方も買いに来られますね」と話す店長の木村治美さん。京都から観光に来た親子は「のりの代わりに、あげが巻いてるのは珍しい。帰りの新幹線で食べるのが楽しみです」と話した。

▲ゴールデンウィークには多くの観光客が訪れ足を止めていた旬彩館の「くまもと うまかモン！」コーナー

「くまもと うまかモン！」 売れ行き好調！

既卒未就職者・中途者の 正社員就職を支援します！

くまもと経済・就職スクール・受講生募集（受講料無料）

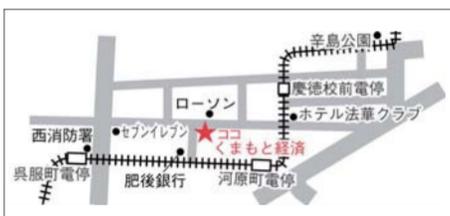
基金訓練 期間 平成23年9月30日～平成24年3月30日（週4日程度。土日・祝日休み）
時間 9時30分～16時00分
定員 30人 場所 くまもと経済本社1階

取得できる資格 ITパスポート（国家資格）、日商簿記3級、FP3級、ワード・エクセル・パワーポイント3級（Office2010）、ビジネス実務マナー検定、コミュニケーション検定など

その他

- 「月刊誌・くまもと経済」編集者による県内時事解説講座
- 広報マン養成講座（取材・記事作成・レイアウト制作）
- 自己PR研修、模擬面接
- 県内企業への会社訪問
- 県内企業経営者や採用担当者による職業人講話

受講料 無料 ※但し、テキスト代1万7526円と各試験受験料は別途必要



訓練・生活支援給付金

一定の条件を満たす方は、訓練受講中に生活支援給付金 月額10万～12万円が受給できます。詳しくは最寄りのハローワークでご確認ください。

スクール事前説明会（教室見学）開催！

日時 7月1日、7日、15日、22日、29日 午後1時30分～2時30分
場所 くまもと経済本社1階（熊本市紺屋町1-2-2）
説明会参加ご希望の方は、**096-359-7777** までお電話下さい。
（訓練担当 秋田・佐藤・村上）